

去年よりどのくらい成長できたかな

～ スポーツ少年団全団交流会 ～



時間内での回数を数え、去年の記録と比較します

12月7日、象潟体育館でスポーツ少年団全団交流会が開かれ、市内の24団体から約530人が参加し、体力テストとレクリエーション活動を行いました。

体力テストは、4年生以下は象潟中学校へ移動し、2会場に別れて行われました。去年までの記録用紙を受け取り、腕立て伏せや時間往復走など、4年生以下は4項目、5年生以上は5項目で自分がどれだけ成長できたかを確認しました。レクリエーション活動では、スポ少リーダー会が進行する様々なゲームをとおして、別種目の団員との交流を図り親睦を深めました。

地域のコミュニケーションが被害を防ぐ

～ すてきな生き方講座 ～



方言を交えた寸劇に見入る参加者

12月1日、にかほ市地域婦人団体連絡協議会の主催による「すてきな生き方講座」が金浦公民館で開かれ、市民ら約110人が参加しました。

今回の講座は、消費者を狙った悪徳商法の被害が後を絶たないことから、消費者の安全・安心に向けて、タレントのバリトン伊藤さんの講演「悪質商法！あなたも被害者に」と、河辺わさび座の寸劇「地域で防ごう！悪質商法」が行われました。寸劇は、方言を交えた会話で終始笑いを誘いながら、地域のコミュニケーションが詐欺被害を未然に防ぐという内容が演じられました。

87カ国、9万5千キロの旅で何を見たのか

～ 夢を聞く会主催「石田ゆうすけ講演会」～

12月15日、市内ボランティア団体「夢を聞く会」主催「石田ゆうすけ講演会」が旧佐々木家住宅を会場に行われました。これは、夢を持つ心を育てたいという目的のもと毎年行われており、今年で4回目の開催となりました。講演会では、自転車で世界1周をした石田ゆうすけさんが講師となり、自身が訪れた世界各国の逸話を写真や音楽を交えながら参加者に語りました。

石田さんは「新聞等で報道されていることは真実の一部分でしかない。現地に行ってみると違う側面が見えてくる」と、何事も体験してみる事の大切さを語りました。



旅が自分を大きく成長させてくれた

環境にやさしく、非常電源に利用できる

～ 電気自動車と充電設備設置式：ねむの丘 ～

道の駅象潟「ねむの丘」で12月2日、日産自動車が全国47都道府県の道の駅に電気自動車を無償提供する事業で、県内で唯一「ねむの丘」が選ばれ、「日産リーフ」1台と電力供給システム「LEAF to Home」1基が寄贈されました。

同車は、地震や台風の停電時に移動可能な電源として利用できるなど、非常時のバックアップ電源として使用できます。式で横山市長は「自然エネルギーを進めていくことへの大きな後押しとなり、より一層豊かなまちづくりへつなげていくようまい進みます」と話しました。



電気自動車の寄贈を受けました

- ◆秋田県納税貯蓄組合連合会長賞
「私たちの今と未来に関わる税金」
金浦中3年 佐々木結衣さん
- ◆本荘由利税務関係団体協議会長賞
「税の使い道について」
仁賀保中3年 高橋結果さん
- 「税とは何か」
象潟中3年 武田信哉さん
- 「タックスハイブーン」
金浦中3年 鎌田智広さん

◆にかほ市教育委員会教育長賞



「県よっての税金の使い方の違い」
金浦中3年 佐藤優稀さん

◆にかほ市長賞



『五円』の未来
仁賀保中3年 荘司歩さん

平成25年度第47回
中学生の「税についての作文」

震度7はとても大きな揺れでした…

～ 白百合保育園・幼稚園の園児が地震体験 ～



最大で震度7を体験出来る地震体験車

12月4日、白百合保育園・幼稚園の園児が消防署にて、「地震体験車」が再現する最大震度7の揺れを体験しました。この地震体験車は秋田県が東日本大震災を受け、実践的な防災知識の普及啓発を図るために導入したもので、この度、期間限定で消防署に貸し出されました。

参加した園児らは、緊急地震速報が鳴り出すと、すぐに机の下にもぐったりし揺れに備え、揺れが始まると、顔では笑っているものの、支柱に必死に掴まったり、お友達と手を握りあったりする姿が見られました。県では自主防災組織などに今後貸し出しを広めていくそうです。